

授業科目名	キャリアカウンセリング	科目コード	配当年次	単位
担当教員	志賀 稔	EB84	3・4	4

科目の概要

個人が満足できる人生を送るためには長期的、継続的なキャリア形成が不可欠である。キャリアは個人の特性と環境の相互作用によって形成され、今日、個人の立場に立ったキャリア研究が注目されている。

本科目では、キャリアガイダンス等の理論を理解することにより、個人のキャリア形成へのサポートについて考える。さらに、組織の変化によって起こりうる個人の諸問題とキャリア形成との関連の中で、キャリアカウンセリングの役割や手法などを学習する。

科目の到達目標

- ①本科目で示す諸事例を自分の立場に置き換えて分析し、どのように適用するか考えることができる。
- ②キャリアカウンセリングの知識や技法を実社会で直面することを想定した課題に対してどう活用できるか考察し、わかりやすく表現できる。

テキスト	『キャリアコンサルティング 理論と実際 6訂版』木村 周/下村 英雄, 雇用問題研究会, 2022年
------	--

テキストの読み方

- ①今日、我が国社会はあらゆる分野でこれまでにない構造的な変化に見舞われている。このような状況下で生涯を通じてどのように自分のキャリアを形成するかはすべての人にとって重要な課題である。
- ②人のキャリア形成は結局「自分をよく見つめ、自分で決め、それを生涯にわたり実践すること」であり、これを行うための理論と方法がキャリアカウンセリングであると考ええる。
- ③このテキストでキャリアカウンセリングの理論と実際について理解することはもちろんのこと、それを自身の生活場面でどのように活用できるかを考えながら読むことが望ましい。

単位修得の方法

レポート課題（基本・応用）を提出し、それぞれ60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、4単位を修得できる。